

Features and Benefits

Dominion® KX II



特長	利点
ハードウェアの特長	
次世代ハードウェアアーキテクチャ	Dominion KX II は、高度なハードウェアおよびソフトウェアアーキテクチャを持つ正に次世代の KVM スイッチです。この画期的な設計により、KVM over IP のパフォーマンス、信頼性、利便性、互換性、セキュリティは新しいレベルに達しています。
「プラグアンドプレイ」のアプリケーションで、素早く簡単にセットアップ	Dominion KX II は、セキュアな Linux®ベースのハードウェアアプリケーションです。全ての Dominion KX II の特徴が認証やブラウザ経由のアクセスを含めて、このアプリケーションに内蔵されているため、追加のサーバを必要としません。
HD ビデオ解像度とデジタルオーディオ対応高性能の次世代ビデオハードウェア	Dominion KX II の KVM over IP エンジンには、ラリタンの次世代テクノロジーを採用し、ラックの前で操作するのと同様の機能を仮想的にユーザに提供します。次世代機能として、高速な画面更新、1920 x 1080 のリモートビデオ解像度、高度なカラー補正機能、サーバ単位のビデオ最適化が挙げられます。
フェイルオーバー機能付きの二重化電源	信頼性と冗長性を向上させるために、Dominion KX II の全てのモデルは二重化 AC 入力、二重化電源、自動フェイルオーバー機能を持ち、電源供給の冗長構成をサポートします。電源の障害は、正面パネルの LED、SNMP トラップ、ログメッセージ、管理マネージャを通じて通知されます。
キーボード、マウス、USB メディア用の 4 つの USB ポート	Dominion KX II には 4 つの USB 2.0 ポートが搭載されています。3 つは背面パネルに、1 つは正面パネルにローカルキーボード、マウス、USB メディア用に用意されています。
フェイルオーバー機能付きの二重化ギガビット Ethernet ポート	冗長性を確保するために、Dominion KX II は二重化ギガビット Ethernet ポートによる高可用性を提供します。一方の Ethernet スイッチまたはインタフェースカードで障害が発生しても、自動的にもう一方のポートにフェイルオーバーし、動作を継続します。
複数のハードウェアモデル	複数のハードウェアモデルにより、1、2、4、8 人のリモートユーザが 8、16、32、64 台のサーバに同時にアクセスできます。ラリタンは、64 ポートのデジタル KVM スイッチを提供する業界屈指のベンダです。
1U または 2U に収納できるフォームファクタ	Dominion KX II-464、Dominion KX II-864 は 2U サイズ、それ以外のモデルは 1U サイズです。Dominion KX II は効率よくラックに収めることが可能です。

Dominion KX II - Features and Benefits

特長	利点
Cat5 ケーブリング	Dominion KX II と各サーバとの接続には標準規格の Cat5 (UTP)ケーブルが使用できます。サーバは、Dominion KX II ユニットから最大で 45 メートル離れた場所に設置できます。
マルチプラットフォーム CIM (コンピュータインタフェースモジュール)	Dominion KX II は、PS/2、USB、Sun®、およびシリアルサーバに接続するマルチプラットフォーム CIM をサポートしています。Dominion CIM は、サーバ解像度に応じて DKX2 から最大で 45 メートル離れた場所で稼働できます。
構成可能なハードウェアリセットボタン	Dominion KX II の背面パネルには、管理者が設定可能なハードウェアリセットボタンが用意されています。
緊急アクセス用モデムポート	Dominion KX II の全てのモデルには、ネットワークを利用できなくなった場合に外部モデムを利用してリモートアクセスするためのモデムポートが内蔵されています。
KVM-over-IP 接続性の特長	
1、2、4、8 人の同時リモート IP ユーザ	Dominion KX II は、購入モデルに応じて 1、2、4、8 人のリモートユーザへの同時 KVM over IP アクセスを提供します。ラリタンは、ほとんどのお客様のニーズと予算にお応えできるように、DKX2 のモデルを豊富に取り揃えています。ノンブロックのローカルポートアクセスは、全てのモデルで提供されます。
8、16、32、または 64 のサーバポート	Dominion KX II には、Cat5 ケーブルを使用して最大で 8、16、32、64 台のサーバを接続できます。ラリタンは、1、2、4 チャンネルの 32 ポートモデルを開発した最初の KVM over IP ベンダであり、64 ポートデジタル KVM スイッチを世界に先駆けて発売しました。
リモートネットワークアクセス / KVM-over-IP	Dominion KX II は、業界屈指の性能と柔軟性を誇り、受賞歴もある KVM-over-IP テクノロジー、Dominion KX のビデオ圧縮回路をさらに拡張させています。ユーザは、ネットワーク (LAN、WAN、インターネット、モバイル端末 (iPhone/iPad)、ダイヤルアップのどこからでも DKX2 にアクセスでき、管理者は、トラブルシューティング、再設定、リブート、そしてサーバ電源のオン/オフまでリモートで実行できます。
Apple® iPhone®や iPad®によるモバイルアクセス	PC 端末からのアクセスと同様の高いセキュリティで iPhone や iPad 経由でサーバにリモートからアクセスと制御が可能です。(CommandCenter® Secure Gateway バージョン 5.2 が必要になります)
柔軟性に富んだカスケードにより 1024 台までのサーバにアクセス	複数の Dominion KX II を接続することで(カスケード)、それぞれに接続されたサーバへデータセンタ内またはリモートからのアクセスが可能です。統合ポートリストまたはワイルドカード検索により 1024 台までのサーバにアクセスできます。
業界初のブラウザベースのローカルコンソールポート	Dominion KX II は、業界初のブラウザベースのローカルアクセスを提供します。リモート/ローカルとも同じ GUI を使用することにより、操作性と管理性が大幅に向上します。さらに、便利なホットキー切り替えにも対応しています。
日本語、中国語といった多言語に対応	Dominion KX II のリモート HTML ユーザインターフェースと KVM クライアントは日本語、簡体字中国語、繁体字中国語をサポートするようになりました。KVM スイッチ単体でも、CC-SG 経由でもこれらの言語をサポートします



特長	利点
ブレードサーバのアクセス制御	<p>Dominion KX II は、HP®、IBM®、Dell®、Cisco®などの主要なブレードサーバに対応しています。そのアクセスは、（１）ラック前（ローカル）（２）IP ネットワーク（３）CommandCenter Secure Gateway 経由（４）モデム、のいずれの方法においても、シンプルかつ自動化されたセキュアな KVM over IP アクセスです。</p> <p>ブレードサーバはシャーン別に画面表示され、ワンクリックでアクセス可能です。ブレード毎のアクセス許可を経由した先進的なセキュリティとホットキーブロッキングにより認証していないアクセスを排除します。他のベンダと異なり、DKX 2 のこの機能は、管理ツールを入れることなく利用できるため、中小規模システムのお客様に最適です。エンタープライズのお客様には、多種多様なデータセンタ環境に必要な集中認証やセキュリティ管理を提供する CommandCenter Secure Gateway との併用により、シームレスなブレードサーバ統合を実現します。</p>
統合型リモート電源制御 - KX II あたり最大で8つの電源ストリップ	<p>ユーザは、オプションのラリタンリモート電源制御ユニットに接続されているサーバの電源オン/オフ切り替えを実行できます。システム管理者はサーバをリモート環境からトラブルシューティングできるだけでなく、マウスのクリック操作のみでサーバの電源オン/オフを切り替えることもできます。1つの KX II ユニットで最大で8つの電源ストリップに対応し、ユーザフレンドリリモート電源制御を利用できます。またサーバ以外の機器のアウトレットのオン/オフも可能です。</p>
DKX2-832、DKX2-864 の延長ローカルポート	<p>Dominion KX II の 8 ユーザモデルには標準のローカルポートに加え、追加でローカルポートがあり、UTP ケーブル経由でラック、管理室を超えてデータセンタ内の離れた場所や、他の DKX2 や Paragon II までの延長を可能にします。</p>
デュアルDIM でアクセスの二重化や増加を可能に	<p>Dominion KX II が Paragon II のデュアル CIM をサポートするようになり、データセンタのサーバを2台の異なる DKX2 に接続することが可能になります。1台の DKX2 スイッチにアクセスできないときも、2台目の DKX2 からアクセスが可能のためアクセスの二重化とリモート KVM アクセスレベルの倍増が可能になります。</p>
二重化スタック IP ネットワーキング - IPv4 と IPv6 対応	<p>Dominion KX II は二重化スタック IP ネットワーキングを提供し、IPv4 と IPv6 を同時にサポートします。</p>
仮想メディア	
KX II の全てのモデルで利用できる仮想メディア	<p>Dominion KX II の仮想メディア機能により、ターゲットサーバへのリモートドライブ/メディアのマウント、リモート環境からの起動と診断を実行できます。</p>
幅広くサポートされる仮想メディアドライブおよびデバイス	<p>内蔵・USB の CD/DVD/ドライブ、USB メモリスティック、PC にマウントされた HD やリモートドライブ、ISO イメージなど、様々なメディアを使ってリモート操作が可能（OS により異なる）です。Dominion KX II は、PC のハードドライブやリモートでマウントされたディスクのアクセスもサポートし、より柔軟性と生産性を高めます。</p>

特長	利点
仮想メディアでデジタル音声転送	デジタル USB オーディオに IP 経由で仮想メディア接続中にサーバにある音声アプリケーションにリモートアクセスできます。再生、録音いずれも対応。IT 管理者、ソフトウェア開発者、放送業界やエンタテインメント業界のユーザ、音声コンテンツ制作やリモート監視に最適です。USB デジタルオーディオ、CD 品質のオーディオ、再生・録音のバッファ設定、アナログ・USB スピーカーやマイクにも対応します。
128/256 ビット暗号化による安全な仮想メディア	仮想メディアセッションは、128、256 ビット AES または 128 ビット RC4 暗号化を使用してセキュリティ保護されます。
新しい二重化 USB 仮想メディア CIM と USB プロファイル	新しい仮想メディア用デュアル USB CIM、D2CIM-DVUSB と USB 機能により、仮想メディアドライブの BIOS レベルからの利用を拡張できます。
仮想メディア、「ずれないマウス」機能、ファームウェアの更新に対応した新しい USB CIM	D2CIM-VUSB は、USB 2.0 インタフェース対応のターゲットサーバとの仮想メディアセッションをサポート。「ずれないマウス」機能とリモートファームウェアの更新にも対応しています。
KVM クライアントアクセスと制御	
ユニバーサルな KVM クライアントアクセス - いつ、どこから、どのような環境にも対応	Dominion KX II は、業界標準の OS、プラットフォーム、および Web ブラウザに柔軟に対応。Internet Explorer 9®、Firefox 4 もバージョン 2.4 からサポートしています。クライアントライセンスの追加費用や余計なソフトウェアライセンスは発生しません。
次世代の共通ユーザインタフェース	リモート/ローカル共通のブラウザベースのインタフェースにより、操作の一貫性が保たれ、トレーニングに時間を割くことなく、生産性が向上します。
Web アクセス対応 KVM クライアント	ユーザは、いつでもどこからでも Web ブラウザ経由で Dominion KX II にアクセスできます。ラリタンの KVM クライアントソフトウェアは自動的にダウンロードされるため、各ユーザのデスクトップに「クライアント」ソフトウェアをインストールする必要はありません。
iPhone や iPad からのモバイル KVM アクセス	Dominion KX II に接続されたサーバのアクセス制御が、Apple の iPhone や iPad から可能に。24 時間 365 日の緊急アクセスがより便利になりました。CC-SG のリリース 5.2 以降のバージョン（2011 年 8 月リリース予定）が必要になります。
Windows®, Linux, Sun/Solaris, マッキントッシュのための Windows と Java™ KVM クライアント	ラリタンの Windows および Java™ ベースのクライアントは、Windows、Linux、Sun/Solaris、マッキントッシュデスクトップのマルチプラットフォームアクセスおよび制御を提供します。
PC シェアモード	PC シェアモードを使用することにより、同じサーバに対して最大 8 人のユーザ同時にアクセス可能。この機能は管理者が共同でサーバのトラブルシューティングを行う場合に便利です。
接続/切断のスクリプト	ユーザが一台のサーバに接続、切断するときのスクリプトを定義できます。サーバの起動、ログイン画面の立ち上げ、自動ログオフをするのに役立ちます。
サーバステータスと可用性のリアルタイム表示	ユーザは、特定のサーバが現在アクセス可能/利用可能であるかどうかを管理画面から簡単に確認できます。
起動設定のカスタマイズ	KVM クライアントを起動する方法をカスタマイズできます。フルスクリーンモード、プライマリ/セカンダリモニタ、シングルマウスモード、スケーリングなど。

Dominion KX II - Features and Benefits

特長	利点
<i>Dominion KX I</i> と <i>Dominion KX II</i> へのマルチプラットフォーム クライアントアクセス	現在 <i>Dominion KX</i> をご利用のユーザは、お持ちの <i>Dominion KX</i> スイッチと新しく追加購入された <i>Dominion KX II</i> にマルチプラットフォームクライアントによる同時アクセスが可能です。
リモートビデオ機能	
高画質 (HD) リモートビデオ解像度 1920 x 1080	<i>Dominion KX II</i> は、KVM-over-IP で初の高画質 (HD) リモートビデオ解像度サポート製品です。さらに、1600x1200、1680x1050、1440x900 といった一般的なワイドスクリーンフォーマットに対応するため、リモートユーザも最新の高解像度モニタを利用できます。
全画面ビデオ表示	<i>Dominion KX II</i> の全画面ビデオ表示ならでは、対象サーバに直接接続しているかのような操作性。ウィンドウ枠やツールバーのない対象サーバの全画面表示が可能です。新しいポップアップメニューバーで、KVM クライアント機能をフルスクリーンモードでも KVM クライアントを使えます。
ポートスキャンニングとサムネイル表示	選択したサーバをスライドショーやリアルタイムのサムネイル表示ができます。サーバのリストを選択して、スキャンのインターバルを設定すれば、サーバにすばやくアクセスできます。リモートでもローカルでも可能。
デュアルモニタ KVM クライアントサポート	生産性を高めるために複数の LCD モニタを利用するユーザのために、 <i>Dominion KX II</i> は KVM セッションを複数のモニタで開始できます。フルスクリーン、スタンダードモードともに対応。サーバのリストが片方のスクリーンに表示され、もう片方でフルスクリーン KVM セッションを開始できます。またはセカンダリとしてデスクトップモニタを KVM 専用にもできます。
柔軟に行える画面の拡大/縮小	対象サーバの画面表示をクライアントのディスプレイウィンドウに合わせた拡大/縮小が可能。 <i>Dominion KX II</i> の柔軟な拡大/縮小機能により、ユーザは固定サイズのウィンドウに制限されず、ウィンドウ枠を必要なサイズに広げたり、サムネイル表示にしたりすることができます。
自動カラー補正機能	<i>Dominion KX II</i> は自動および手動の色補正機能を提供。画面表示を最適化して、生き生きとしたほぼ実物通りの色を実現します。
15 ビットカラーのサポート	<i>Dominion KX II</i> の 15 ビットカラーサポート(32,000 色)のサポートにより、ネットワーク経由でも優れたビデオ品質が提供されます。モデムや、低帯域幅リンクによる接続にも対応できるように、複数のカラーモードとグレースケールが用意されています。
自動・手動構成可能な帯域幅設定	ネットワークの帯域幅に合わせてビデオを自動調整。高速 LAN アクセスの場合、使用可能な帯域幅が多く、高品質のビデオ情報を送信可能なため、パフォーマンスが向上します。
高速なビデオ切替	<i>Dominion KX II</i> の高度なビデオ解像度検出機能により、ビデオ切替がスムーズに行われ、ターゲットサーバに迅速にアクセスできます。
マウス・キーボード機能	

Dominion KX II - Features and Benefits

特長	利点
「ずれないマウス」機能(Absolute Mouse Synchronization™)	究極のマウス同期機能により、リモートおよび対象となる Windows や MAC®サーバのマウスポインタの同期が外れることはありません。また、互換 USB マウスポートを持つサーバの場合、ターゲットサーバ上でマウス設定を調整する必要がありません。これにより、インストール時間が短縮し、Dominion KX II のプラグアンドプレイ性能を拡張します。この機能は D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB の仮想メディア CIM で有効になります。*対応 OS が必要
インテリジェントマウス同期機能 (Intelligent Mouse Synchronization™)	ほとんどの KVM スイッチでは、ターゲットサーバのマウスの動きと加速度を KVM ユーザごとに手動で設定する必要がありますが、Dominion KX II のインテリジェントマウスオプションを使用することにより、マウス設定は自動的に調整され、このような手間が省けます。この機能が DKX2 のプラグアンドプレイ操作をより確かなものにします。
スピーディなシングルマウスモード	多くの Dominion KX II ユーザは、マウスを 2 つ使用する構成を好みますが、DKX2 のシングルマウスモード機能はスピーディなパフォーマンスを提供し、サーバや OS に何かの変更をする必要もありません。
透過的なキーボード処理	透過的なキーボード処理とは、ユーザのキー操作が全て仮想的にターゲットサーバに送信され、デスクトップクライアント側では処理されないことです。ラリタンの Virtual KVM Desktop の重要機能である本機能を使うことにより、キーボードマクロ作りの必要性はほとんどなく、ユーザはよりスムーズにターゲットサーバを操作できます。
ターゲットサーバへのテキスト送信	データセンタなど遠隔拠点からターゲットサーバにテキストデータやコマンドを送信できます。
セキュリティの特長	
FIP140-2 暗号モジュール	政府、軍隊といった高度のセキュリティが要求されるアプリケーションに対応して、Dominion KX II は暗号強化のために米国政府機関の FIPS140-2 暗号モジュールを採用した最初のデジタル KVM スイッチです。FIPS140-2 対応としてテスト・確認されたモジュールは、米国、カナダの連邦政府で機密情報の保護に利用できます。
AES 暗号化	次世代標準暗号化方式 Advanced Encryption Standard(AES)暗号化を採用。AES は米国政府が承認した暗号化アルゴリズムで、米国標準技術局(NIST)の FIPS 標準 197 で推奨しています。128 ビット、256 ビットが利用できます。
スマートカード/CAC 認証対応	Dominion KX II は、ローカルでも、IP 経由のスタンドアロンでも、CC-SG 経由でもスマートカード認証 (CAC を含む) に対応しています。米国政府の HSPD-12、PIV、CAC 指令、ISO7816、PC/SC および CCID 標準に対応しています。ご使用に際しては D2CIM-DVUSB が必要です。
ビデオと仮想メディア、スマートカードの暗号化	Dominion KX II では、キーボードおよびマウスのデータに加え、ビデオ信号も安全に暗号化します。仮想メディアとスマートカードのデータ転送も安全です。
RADIUS、LDAP、および Active Directory®認証	LDAP または RADIUS のどちらかのプロトコルを使用して、Microsoft®の Active Directory などの業界標準ディレクトリサーバと統合。これにより、Dominion KX II は既存のユーザ名/パスワードを使用したセキュリティを実装できます。
「強力なパスワード」機能	管理者が設定できる「強力なパスワード」機能を装備しています。



Dominion KX II - Features and Benefits

特長	利点
設定可能なセキュリティバナー	政府や軍隊のようなセキュリティが厳しく、ユーザログイン前にセキュリティメッセージを必要とするユーザのために、 KX II はユーザが設定できるバナーメッセージを表示し、ログイン前に確認を求めることができます。
「ステルスモード」と設定可能なポート番号	標準的な TCP/IP のポート番号を避けてセキュリティを向上させたいユーザのために、 Dominion KX II は、管理者が違うポート番号を設定できるようにしています。
SSL 認証のアップロード	Dominion KX II の電子証明書にアップロードして、認証や安全性を強化することができます。
ユーザ、グループ、権限によるローカル認証	外部認証のほかローカル認証にも対応。管理者は、管理権限およびポートアクセス権限を持つユーザやグループをカスタマイズし、定義できます。
複数のセキュリティ機能	「強力なパスワード」ルール、パスワードエージング、アクセスコントロールリスト、非活動タイマ、グループ権限、ポート単位認可など、多くの追加セキュリティ機能を提供します。

Dominion KX II - Features and Benefits

管理機能	
リモートとローカルでの運用と管理	管理者は、自身のデスクトップからシンプルな GUI を使って、運用、管理、設定操作を全て実行できます。
ラリタンの CommandCenter® Secure Gateway との統合	<p>Dominion シリーズのその他の製品と同様、Dominion KX II は、CommandCenter Secure Gateway と統合可能です。CC-SG は全ての Dominion デバイスを単一の論理システムに集約し、シングルサインオンでのアクセス制御を提供します。</p> <p>CC-SG のリリース 5.2 以降（2011 年 8 月リリース予定）を経由すれば、Dominion KX II に接続されたサーバに iPhone や iPad からアクセスできます。</p>
SNMP 管理と Syslog によるイベントログ	システムとユーザのイベントをログ化し、各デバイスにログファイルとして残せます。永久ロギングには、Dominion KX II SNMP エージェントが、SNMP トラップを配布し、重要なシステムイベントを把握。SNMP トラップは管理者が設定できます。Syslog ロギングも利用可能です。
ファームウェアアップグレード	Dominion KX II のファームウェアアップグレードは、ラリタンの Web サイト上からファームウェアファイルをダウンロードすればすぐ行えます。
D2CIM のファームウェアの更新	Dominion KX II の CIM(DM2CIM)は、DKX2 本体からファームウェアのアップグレードが可能。これには仮想メディアとずれないマウス、スマートカード／CAC やデジタルオーディオをサポートする CIM、および D2CIM-PWR が含まれます。
Dominion KX I との互換性	既存の Dominion KX I スイッチは、Dominion KX II とともに引き続き使用可能。CC-SG およびラリタンのマルチプラットフォームクライアントは、DKX I および DKX II に接続されたターゲットサーバとシリアルデバイスへのシームレスなアクセス制御をサポートします。
Paragon®と Dominion® CIM との互換性	Dominion KX II でサポートされる Paragon I、Paragon II CIM の一部モデル、および Dominion KX I の DCIM を使うことができます。Paragon と Dominion のユーザで、DKX2 へのアップグレードをお考えの方は、CIM の多くを引き続き利用できるため、移行コストを抑えることができます。